

# 2017年12月16日

## 第224号 発行 嶋田住建

# もっと住まいを快適に

## 住まいる通信

### 寒い日が続きますね。断熱リフォームをご検討下さい

### シリーズ リフォーム塾

「二」数年は夏は溶けるほど暑く、冬は厳しい寒さです。昔の家はどちらかと言うと夏向きの家で建てられていました。だから風通しのいい家が多く、冬は寒くて当たり前、その時は暖をとるという考え方でした。平成の時代になると、新築の家は高断熱高気密計画換気を採用して高性能の家が徐々に建てられてきました。その結果わずかな熱源(冷暖房)で快適な生活ができるようになっていきます。

高断熱高気密以外の家は残念ながら「暖房をつけても部屋がしつかり暖まらない」「暖房のスイッチを切ると熱が逃げてすぐ寒くなる」...このようない経験はありませんか？

現在の家を最新の家のように高性能な家にするのは技術的に難しいですし、お金もいくらかかるかわかりません。

そこでオヤジから提案させていただいたのは「ひと部屋断熱リフォーム」です。家全体ではなく、一番居る部屋や重要な部屋の断熱性を高めていくのです。



### まず窓から

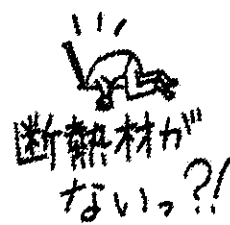
一説には窓が一枚ガラスですと、六割前後の熱が逃げていくそうです。これに隙間があると、せっかく暖め

た熱がほとんど逃げてしまっています。皆様も一度は聞いた事のある「内窓」をお勧めします。メーカーさんによって名前が違いますが、リクシルさんでは「インプラス」といいます。これは現在のサッシの室内側に樹脂製のサッシを取り付けする方法で、二重サッシになります。古いサッシと新しいサッシの間の空気層が断熱の役目をし、新しいサッシの気密性がいいので断熱性能は格段にあがります。このサッシを取付したほとんどのお客様から「取付してよかった」と喜んでいただいております。

### 壁と床と天井の断熱性を上げる

「内窓」だけでもかなり断熱性がよくなりますが、もう少しなんとかならないかという場合もあります。

その場合は壁と床と天井の隙間を少なくして断熱性を上げます。寒さ対策には壁と床の断熱が効果的です。たとえば畳の部屋は意外と寒いと思いませんか？



畳は立派な断熱材なのになぜでしょう？

畳をめぐると畳下と板と壁の間に数センチの隙間が全部空いているのが一般的です。ここから隙間風が入るので寒いのです。これでは窓だけ一生懸命やっても意味がありません。対策としては発砲ウレタン(ホームセンターで売っています)で隙間を塞いでから畳を戻すとかなり断熱性があがります。簡単な工事ですので、ぜひやってみて下さい。

### オヤジ日記

### 今年もお世話になりました

今年も残すところ約二週間になりました。皆様にとって、今年はどういう一年だったでしょうか？

オヤジはおかげ様で忙しい一年でした。初めてお世話になったお客様、久しぶり



にお仕事をさせていただいたお客様。今年も皆様から沢山のお仕事をいただき、本当にありがとうございます。前回はよく考えていましたが、最近「当分は現役でやってみよう」と思っています。子供達もだいぶん任せられるようになりましたから、健康に注意して引き続き皆様にお世話になっ

### 当店のお客様をご紹介いたします

東金市G様  
塗替え他  
工事費▼二百五十万円

大網白里市J様  
キッチンリフォーム他  
工事費▼百五十万円

山武市S様  
外構工事  
工事費▼七十万円



ありがとうございました

メンテナンス・リフォーム・増改築・新築  
お住まいに関する事でしたらどのような事でも  
お気軽にご相談してください

ご相談・見積は無料です

メールお待ちしております  
yuyuoyaji@docomo.ne.jp

ホームページも見てください

<http://shimadajuken.web.fc2.com/>



おかげさまで地元で33年

わくわくリフォームショップ

(株) 住まい工房 嶋田住建

建設業許可 千葉県知事登録(般-27)第50159号  
特定非営利活動法人 住まいの構造改革推進協会正会員2-0305号

東金市油井188-61(ニュータウン丘の街内)

0120-910-720

TEL:0475-52-4037

営業時間:8:00~22:00